

2020年8月6日

各位

会社名	K L a b株式会社
代表者名	代表取締役社長 森田 英克 (コード番号：3656)
問合せ先	専務取締役 高田 和幸 E-mail ir@klab.com

営業外費用（為替差損）及び 特別損失（のれんの減損損失、関係会社株式評価損）の計上に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第2四半期連結会計期間において、営業外費用（為替差損）及び特別損失（のれんの減損損失、関係会社株式評価損）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上

為替差損 122 百万円を営業外費用に計上いたしました。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済及び期末為替レートによる評価替で発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 特別損失の計上

（1）のれんの減損損失について（連結決算）

当社グループは今期より、「海外向けゲーム開発支援モデル」として日本の有力 IP の海外展開支援及び海外企業と共同してのゲームの開発に一層注力することとしております。

従来は、2017年7月に当社の完全子会社となった株式会社スパイスマート（以下、スパイスマート）において、当社との事業シナジー創出の一環として、同社が持つ海外での事業展開力を活かし、海外でのパブリッシャー及び開発パートナーの開拓活動を行ってまいりました。しかしながら、同社のこれまでの実績及び当社グループ全体の今後の事業計画に鑑み、同社の事業計画を見直した結果、将来創出するキャッシュフローが当初計画に対し縮小する見込みとなったことから、同社にかかるのれん 498 百万円の減損損失を計上することといたしました。

なお、同事業につきましては、より事業の展開を促進し収益化させるべく当社グループ全体で推進する体制へ変更し、同社は今後も同事業のサポートにあたりつつ、ゲーム市場のリサーチ事業を中心に展開してまいります。

（2）関係会社株式の減損処理について（個別決算）

「2. 特別損失の計上（1）のれんの減損損失について（連結決算）」の背景を踏まえ、スパイスマートの直接親会社である株式会社アバシーの株式について評価を行った結果、実質価額が著しく下落していることから、個別決算において減損処理を実施し、関係会社株式評価損として 706 百万円を特別損失に計上することといたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算上消去されるため、連結財務諸表への影響はありません。

3. 通期業績への影響

2020年12月期の業績に与える影響につきましては、本日開示いたしました「2020年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

以上